



ひとりざわ News 陽春

◆「やってちょうだい」から「やってみよう」へ(介護課 4 階)

施設におけるご利用者様の生活は、職員が日常적으로世話していることもあり、ご自分で出来ることでも「やってちょうだい」と一番身近な介護士へ頼る傾向があります。

ご希望通り対応させていただくことは容易なことです。…ですが、それが当たり前のことになってしまうと、身体・精神の機能低下はもとより、自律した生活への妨げにつながってしまいます。これらの機能を維持するために4階では、“植物への水やり”や“決まった場所へ新聞を取りに行く”などの日常における些細な出来事や、フロアの飾り付け“レクリエーション等のイベント”への参加など、様々な「やってみよう」に取り組んでいます。実施してみて、ご利用者様から「良い気晴らしになっている」や「リハビリになっているので、今後も続けてほしい」と前向きなお言葉をいただき、職員一同嬉しく思っています。

今後も継続して実施していきますが、大変な時は無理せずいつでも職員に声をかけてください。出来ることから少しずつ職員と一緒にトライしてみましょう！



◆AED心肺蘇生法勉強会(1 月 27 日、29 日、30 日)

ひとりざわでは、職員教育のため、全職員を対象に定期的に勉強会を行っています。今回は「AED心肺蘇生法」を行い、実際に人形を使用し、1人ずつ実践しました。

～流れ～

①意識の確認 ②助けを呼ぶ ③気道確保と呼吸の確認 ④人工呼吸、アンビューバッグ

講義形式だけでは、個々の理解の仕方が異なる可能性があるため、実践的な勉強会を行うことにより、統一した対応方法が再確認出来ます。

今後も、全職員が適切な且つ的確な対応が行えるように、定期的に勉強会を開催していきます。



◆薬剤師のお仕事とは？（看護課より）

ひとりざわでは、現在週に3日、木村薬剤師が私たち看護師と共に勤務しています。

今年は、インフルエンザウイルスがとても流行りましたね。予防には、『手洗い、うがいや手指の消毒』が必須です！施設には予防薬を常備しており、そこで薬剤師の知識が最も重要になります。

日々の業務内容としては、薬の整理や準備をしています。ご高齢の方は、一般的に代謝の低下により、成人の1/2～1/3の量が適当とされているので、内服薬の量も医師と相談の上、調整しています。

また、点眼薬、吸入薬、貼付薬、インスリン、頓服薬（解熱剤や鎮痛剤、抗生物質、眠剤等）の準備や管理もしています。

薬は、飲み合わせの悪いものやアレルギー等を引き起こす要因となるものもあるため、相談に乗っていただいたり助言を受けたりします。

また、職員の健康管理にも協力してくれる、とても心強い存在です！

これから花冷えの季節・・・寒暖差もあるので体調を整えて毎日元気に過ごしましょう！



薬剤師の木村晶です。

お薬について、ご不明な点などいつでもご相談ください！



◆行事食のお知らせ

*4月9日(木) 春満載御膳

- ・桜ごはん
- ・鮭の木の芽焼き
- ・すまし汁
- ・姫こうやの煮物
- ・桜杏仁



*4月11日(土) セレクト食



A『かに玉』



B『八宝菜』

※写真はイメージです

◆施設からご家族様へ

*1月・2月とインフルエンザウイルスによる感染対応のため、一部のユニットで面会制限等をさせていただきました。ご迷惑をお掛けし、申し訳ございませんでした。

また、3月31日をもちまして、感染対策強化期間が終了となりました。

今後も、感染予防に努めてまいりますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

*平成27年4月からの介護報酬改定に伴い、重要事項説明書をご家族皆様へ郵送させていただいております。内容をお読みいただき、同意書を4月30日(木)までに返信用封筒にてご返送ください。

◆編集後記

今年は、3月下旬より春本番の暖かさが続き、桜も開花が早まり各地で見頃を迎えています。ひとりざわでも、ご利用者様と一緒に近隣のお花見スポットへ外出し、満開の桜や春風に舞う花びらを堪能してきました。

桜は、毎年変わらずみんなの心を和ませ、見る目を楽しませてくれます。私たち職員も、桜に負けないくらい、ご利用者様にとって毎日がウキウキするような生活を提供していきたいと思います。

広報委員